

## 管路の耐震化の状況

### 1. 基幹管路の耐震化の状況

	管延長(m) (A)	耐震適合性のある 管の延長(m) (B)		耐震適合率 (B) / (A)	耐震管率 (C) / (A)
			耐震管の延 長(m) (C)		
送水管	17,150	8,133	521	47.4%	3.0%
配水本管	7,483	2,739	139	36.6%	1.9%
基幹管路(計)	24,633	10,872	660	44.1%	2.7%

- ※送水管 浄水場から配水場、配水場から配水場へ水を送る管路をいいます。  
 配水本管 当企業団では配水場直下の最大口径の配水管路をいいます。  
 基幹管路 送水管と配水本管をいいます。  
 耐震管 接合部が離脱しない構造となっている管をいいます。  
 耐震適合性のある管路の延長 地盤の性状を考慮し良い地盤に布設された管と耐震管の合計をいいます。

### 2. 配水支管の耐震化の状況

平成 23 年度から口径 75 mm以上の配水管布設工事については、耐震継手を有したダクタイル鋳鉄管及び熱融着継手式水道用ポリエチレン管を採用しています。

	配水支管延長(m)	耐震管の延長(m)	耐震管率
H27	426,832	20,621	4.8%
H28	428,426	23,500	5.5%
H29	431,213	26,994	6.3%
H30	434,500	31,466	7.2%
R1	436,738	35,052	8.0%